

2024年度 埼玉医科大学国際医療センターにおける医療従事者の負担軽減計画

当院では、医療従事者の負担軽減のために多職種からなる「業務改善委員会」を中心に、下記の事項について取り組みを行っております。

1. 勤務医の負担軽減に関する取り組み

部署	取組項目
看護部	初診時の予診の実施 静脈採血等の実施 入院の説明の実施 特定行為研修修了者の活用及び増員 がん患者の心理的不安軽減の面接を看護師が主体的に行う 外来化学療法室に静脈注射レベルⅢ有資格看護師の増員
薬剤部	継続処方への代行入力 フォーミュラーの活用支援 服薬指導の充実
中央検査部	検査手順の説明の実施 輸血部での代行入力の実施
中央手術部	術前診察、術後診察の担当者の見直し
ME サービス部	血液浄化医師の病院間での移動体制改善
栄養部	管理栄養士による食事オーダーの代行入力及び権限委譲の検討
リハビリ訓練室	リハビリ医師の業務分担
病理診断部	病理認定技師による切り出しサポートの強化 臨床検査技師による病理組織標本作業のサポート
医務課	ベッドコントロール業務の円滑化
病院による取組	勤務計画・連続当直を行わない勤務体制の実施 予定手術前日の登頂や夜勤に対する配慮 当直翌日の業務内容に対する配慮 交代勤務制・複数主治医制の実施 短時間正規雇用医師への配慮 外来への医師事務作業補助者の配置 医師事務作業補助者による業務範囲の拡大及び増員

2. 勤務医以外の医療従事者の負担軽減に関する取り組み

対象	取組項目
看護師	患者支援センターにおける入・退院支援業務の充実により、病棟看護師の退院調整の負担を軽減する 部署間による残業時間の格差をなくし平均化する。40時間以上の職員をなくす 患者コールセンターの改善 看護助手の増員、配置やタスクシフト・シェアの実施
薬剤師	調剤助手の増員、学生アルバイト、委託業者へのタスクシフティング 委託業者の増員を図り、土・日・祝日の業務負担軽減
手術部スタッフ	消毒滅菌業務を専用スタッフに依頼 増員による勤務時間の軽減
診療放射線技師	夜間当直業務における業務遂行能力の均一化
臨床検査技師	不規則抗体スクリーニング検査における酵素法中止に向けての検討 穿刺液の細胞数算定の機械化の検討
臨床工学技士	個人用多用途透析装置の部材交換・点検を業者へ依頼
管理栄養士	食事・栄養システムを委託業者と同一のシステムにする
理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	リハビリテーション転院報告書の内容の見直し、簡略化 言語聴覚士における食事オーダーの変更
病理検査技師	受付時間外の提出に対する複数員での対応 細胞、組織病理の知識を取得し業務の円滑を図る 過剰にオーダーされている免疫染色の件数の減少
診療情報管理士	スキャン手順の整備
医務課	レセプト担当者の時間外労働の削減

病院長 佐伯俊昭